



Title	H-NET とは何か？
Author(s)	杉田, 米行
Citation	大阪外国語大学アジア太平洋論叢. 1996, 6, p. 325-340
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/99734
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

H-NET とは何か？

杉 田 米 行

はじめに

1992年12月に米国で設立された人文科学系の学会組織（非営利団体）。通常の学会と大きく異なるところはインターネットを用いて学問の発展に貢献する点。全世界のどこにしようともパソコンと電子メール住所さえあれば、全く同じ条件で世界の学者と情報交換、研究発表、論文紹介、書評などが行なえる。急速に発展し、1995年11月現在では世界62ヶ国に延べ33,000名の会員を持ち、しかも毎月1,000名の割合で加入している世界最大級の人文科学系の学術組織である。参加費用は無料で、**H-NET** はイリノイ大学教授リチャード・ジェンセンを会長として運営されており、**H-NET** の下に現在50以上の分科会がある。**H-NET**は発足以来、まだ3年少々の歴史しかないが、驚異的な速さで全世界にそのネットワークを伸ばしてきた。現在もやはり、アメリカ人の会員が最も多く、今後の課題として、ネットワークの国際化を痛切に感じているようだ。

H-NET が特に得意とする分野の1つが書評または書評論文である。従来は新刊本が出版されてから書評が活字になるまで1－2年程の時間がかかっていたが、**H-NET**の規定では、原則として、書評用の書物が評者の手に届いてから6週間以内に書評の完成、およびコピーライトの付与などの必要手続きに2－4週間必要となる。従って、新刊本の出版より約2－4ヶ月で書評が発表されることも可能となる。また、オンライン上で、著者の反論、評者の応対なども行なわれ、最も活発な活動の1つになっている。（資料1）

H-NET はどのようにすれば利用できるか？

必要なのは電子メール住所だけである。利用料、登録料などは一切不要。登録

さえすれば、自分の電子メール住所に情報が自動的に入る。もちろん自分の質問やコメントなどを世界に発信することも簡単だ。日本研究の分科会である **H-Japan** を例にとって説明する。まず電子メールの発信先に

listserv@h-net.msu.edu

と入力する。そして「主題」の欄は空白にし、本文に

sub H-Japan [名前、所属] と入力する。

(例) **sub H-Japan Yoneyuki Sugita Osaka U. of Foreign Studies**

そして送信操作を行えば完了。後は、**H-Japan** から登録完了のメールを待つ。わからないことは、編集者の一人の杉田までご連絡下さい。

〒562

大阪府箕面市粟生間谷東 8-1-1

大阪外国語大学

杉田米行

電話・ファックス：0727-30-5416

電子メール住所：**sugita@post01.osaka-gaidai.ac.jp**

なお、大阪外国語大学アジア太平洋研究会はその研究活動にインターネットを駆使して資料収集、情報交換の重要性を十分認識している。今後は外国から情報を収集するのみならず、積極的に大阪外国語大学から学問的成果を世界に発信するために、**H-NET** の呼びかけに応じて **H-NET** と学術提携関係 (**academic affiliation**) を結んだ。この提携関係締結の 1 つの成果として、**H-NET** はミシガン州立大学のコンピュータセンターの協力を得て、無料でアジア太平洋研究会のホームページ作成に合意し、既に作成されている。それを見るためには、

<http://h-net.msu.edu/~asia/org/kiaps/>

にネットスケープなどのWWWブラウザでアクセスできる。

インターネット利用の具体例

以下、実際にアジア太平洋研究会に属している会員がインターネットを利用して研究活動に寄与した実例を少し列挙してみる。

(1) A氏は、インターネットで知り合ったM教授が自分と同じ分野の専門家であることに気付いた。M教授は、A氏が現在書いている論文の原稿を是非見たいと要請し、A氏は通常の郵便で原稿を送付した。(注釈：電子メールの「アタッチファイル」機能を使えば、A氏は通常の郵便ではなく電子メールで原稿を瞬時に送付することも可能であった。) M教授は直ちに原稿を読んだらしく、1週間程で電子メールにより詳細なコメントが送付されてきた。それに対してA氏も返答を出した。やりとりをしているうちに両者は意気投合し、1996年秋の国際会議でパネルを組むことになった。M教授の知り合いの方も加わり、結局3人のパネルを組むことになった。この国際会議は本年度9月に千葉の幕張で開催される。

(2) B氏は、海外研修に行くことになったが、はじめての大学だったので、わからないことばかりであった。しかし、彼はあわてる必要はなかった。担当教授とは、訪問先における研究活動の詳細に関して電子メールで打ち合わせることができた。具体的には、訪問大学周辺の地理、次の訪問大学までの経路、ホテルの予約、セミナーの設定などが電子メールのやりとりで迅速にできた。従来ならば郵送期間を考慮に入れる必要があったが、電子メールを使えば瞬時に手紙のやり取りが可能となる。最後によりやく国際線の飛行機の座席もとれ、電子メールで「招待状」の送付を依頼した。翌日に「招待状」は届けられた。

(3) C氏は、留学中に参加していた研究会が現在どのような活動をしており、どのようなゲストスピーカーが、どのようなテーマで講演をしているのか是非知

りたいと思った。そこで、この研究会のホームページにネットスケープというWWWブラウザのソフトを利用してアクセスした。留学中と同様、この研究会の活動に関しては、パソコンの画面でみることができた。

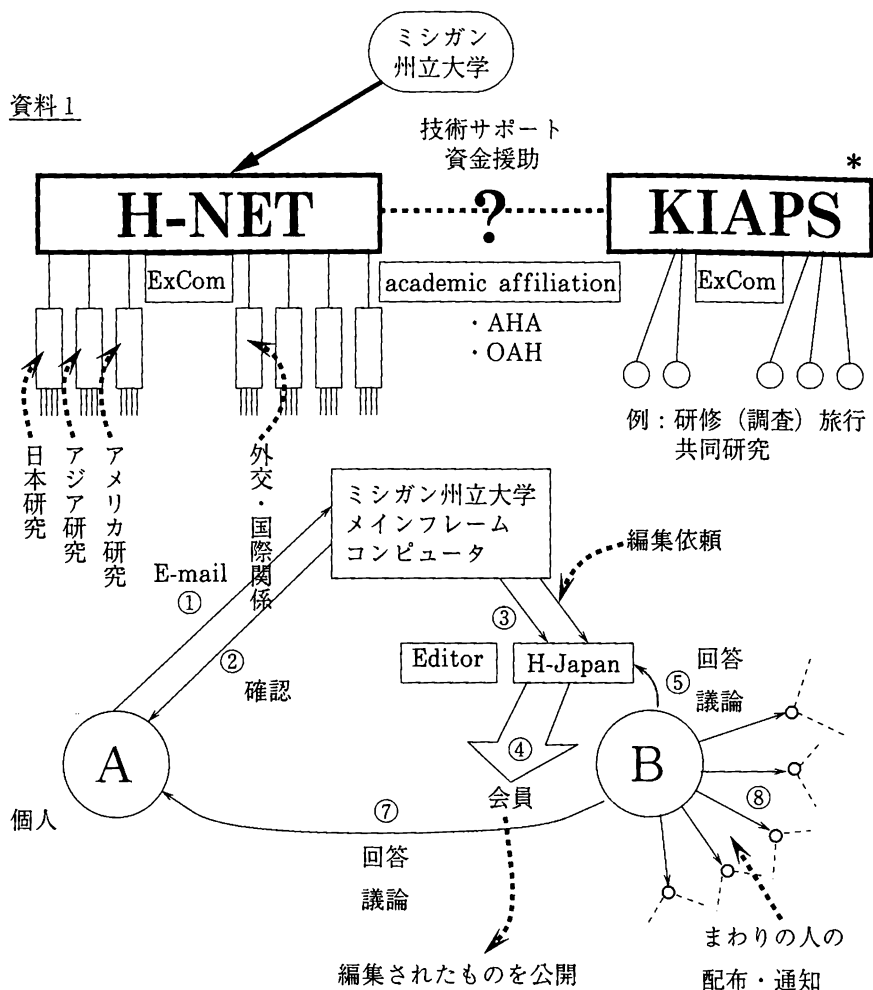
(4) D氏は、バンコクで開催された「アジア欧州首脳会議」(ASEM)を見学に行きたかったのだが、大学の仕事があり、残念ながら行けなかった。しかしながら、ASEMのホームページがあると聞き、早速ネットスケープを使ってアクセスしてみた。何と当日の記者会見、元首の演説などが全文掲載されていた。

(5) E氏は、日本研究を専門にするH-NETの分科会であるH-Japanの編集者から書評をしてみないかという打診を受けた。パソコンはあまりさわったことはなかったが、通常通りパソコンまたはワープロで書評を作成し、テキストファイルに変換してフロッピーを提出すればよいということだったので、思い切って引き受けた。現在奮闘中である。

注釈：この書評は完成次第、ミシガン州立大学の本部に送付され、そこでコピーライトが付与された後、インターネットで全世界に公開される。インターネットの主要言語は現在英語だが、H-Japanは初めて日本語使用に成功し、現在日本語と英語が両方とも公用語になっている。従って、日本史の専門家が全国からたくさん加入している。

この提携関係を結ぶに当たって、赤木攻教授の地道な努力が決定的な役割を果たした。本年1月にH-NETの会長であるリチャード・ジェンセン教授から赤木攻教授に送付された提携関係申し込みの親書の抄訳を掲載する。(資料2)

最後にH-NETにある50以上の分科会の一部を紹介する。(資料3)



*KIAPS=Kansai Institute of Asia-Pacific Studies

大阪外国語大学アジア太平洋研究会（KIAPS）会長赤木攻教授

H-NET会長リチャード・ジェンセンより

親愛なる赤木教授：

H-NETとKIAPSの間において、特にH-JapanとH-USAを支援する点に関して提携を結びたいと希望しております。

H-NETは人文科学系の学者によって構成されている独立の国際組織です。我々の目標はコンピューターとインターネットを利用して世界中の人文科学系の学者と教授がコンタクトを取りやすくすることです。我々の最大の活動は50個の「リスト」または討論グループを運営することです。これらのリストによって学者コミュニティの日々のコミュニケーションが保たれているのです。現在、68ヶ国に延べ38,000名の参加者がいます。3年前に発足したばかりですが、すでに世界最大の人文科学系組織の1つになっています。H-NETでは数多くの研究会やトレーニング・プログラムを提供しており、教師のためにマルチメディア教材を創作する大規模なプログラムも持っております。H-NETは世界各国の160名のエディターとスタッフによって運営されており、彼等の選挙によって役員が選出されています。エディターは無料奉仕ですが、技術面をサポートする大規模な有給（主にミシガン州立大学の大学院生）も配しております。我々は米国政府の機関である全国人文科学基金、国際交流基金日米センター、ミシガン州立大学、イリノイ大学、オースティン・ピー州立大学、カンザス州立大学、オーストラリア政府、ほかいくつかの大学から資金援助を受けております。

H-NETが重視しているプロジェクトの1つが人文科学者のために国際ネットワークを形成することです。KIAPSがアジアにおける主要センターになって下さることを望みます。KIAPSは経験と蓄積を提供し、H-NETはコンピューターの知識とオンラインネットワークの経験を提供いたします。H-JapanとH-USAは日本と米国にいる学者を結び付ける非常に重要なリンクになるかもしれません。

敬具

H-NET会長 リチャード・ジェンセン

H-Japan

H-Japan is an international, nonpartisan electronic discussion group sponsored by H-Net: Humanities-On-Line and the Kansai Institute of Asia - Pacific Studies (KIAPS) of Osaka. U. of Foreign Studies. It provides scholars, graduate students and professionals a free daily forum to discuss Japanese history, culture, religion, and society, including contemporary political, diplomatic, security, and economic issues. It is edited by a team of scholars from Japan and the USA, and has an international editorial board.

This list has been established with funding from the Center for a Global Partnership of the Japan Foundation (Kokusai Koryu Kikin Nichibei Center), which has also given support to H-Asia and H-USA. H-ASIA is an English-language list from H-Net which handles broader regional issues. To subscribe to H-ASIA, write to listserv@msu.edu

H-Japan is an EDITED list. This means that list editors will screen all incoming messages so that there will be no "flames," "spams," private email, or non-scholarly messages. We will not censor ideas that can be presented, but we will do our utmost to assure that ad hominem arguments, "flames", and other clearly irrelevant or unprofessional materials do not appear on the list. Authors will be asked to re-write and re-submit such messages. We may make minor editorial changes (spelling corrections, for example, or complete signatures) as needed.

Subscribers submit questions, comments, reports and replies to H-Japan. Subscribers may quote and cite messages, and download and reproduce them for non-profit educational uses. (For other uses please contact the editors.) H-Japan Publishes syllabi, outlines, handouts, bibliographies, listings of new sources, library catalogs and archives, and reports on new software, datasets and cd-roms, and posts revised welcome letter. How's this [rj] announcements of conferences, fellowships, new publications in Japanese studies, and jobs.

H-Japan will commissions scholarly book reviews and post responses from authors and audience alike.

It is our intent to encourage international participation and in particular to encourage interaction between specialists in Japan and the United States. To this end we are endeavoring to adapt LISTSERV software to permit us to safely pass through Japanese language messages. Upon establishing that capability, we will strongly encourage communications in either English or Japanese. Our WWW is fully bilingual. We encourage subscribers to write in the language people will feel comfortable in exchanging ideas in a "foreign" language, we encourage readers to ask for clarifications of possible

misunderstandings or to offer, comments in a professional manner so that substantive issues remain our focus.

Once begun, our work in transmitting Japanese language Messages will still be experimental for some time. We will update people as progress is made. In the meanwhile, those who experience problems sending or receiving Japanese language messages even though they have appropriate PC or MAC software should FAX Philip Brown at 1-614-292-2282 in the U.S.A., or Yoneyki Sugita in Japan at 81-727-30-5416 from outside Japan or (0727)30-5416 for domestic callers.

H-JAPAN へようこそ

H-JAPAN はH-Net (Humanities-On-Line)、大阪外国語大学関西アジア太平洋研究会 (KIAPS)、オハイオ州立大学そしてミシガン州立大学の後援による、インターネットを通しての国際的、政治的に公平中立なディスカッション・グループです。研究者、大学院生そして様々な分野の専門家に、日本の歴史、文化、宗教そして社会（現在の政治、外交、安全保障、経済問題も含む）について、議論の場を提供することを目的としております。

このH-JAPAN は、アメリカ人文基金 (The National Endowment for the Humanities) および国際交流基金日米センターに一部基金を得て設立されました。(日米センターにはH-ASIA、H-USA も同様に協力を得ております) また活動の一環として、日米学生会議 (JASC) を支援しております。H-JAPAN は、より大きな地域的枠組みで問題を扱うH-Net のグループ、H-JAPAN は、より大きな地域的枠組みで問題を扱うH-ASIAへの登録希望メッセージを"listserve@mu.edu"までお送りください。

H-JAPAN は「編集」されております。つまり、全てメッセージは編集担当者のチェックを経て掲載されるということです。それは、感情的な非難、議論にかこつけた広告、不特定多数に向けられた無関係のメッセージ、私的な電子メール、学問的でないメッセージなどを削除するためです。これは発表される考え方に対する検閲を意図したものではなくありません。明らかに無関係で専門性のないものを、H-JAPAN 上に現れないようにするためです。また、例えば誤字、ミススペルの訂正や、ページのレイアウトなど若干の編集を施すこともあります。

読者からのH-JAPAN への質問、御意見、レポートそして応答を歓迎いたします。H-JAPAN は、シラバス、論文または報告概要、レジュメ、書誌目録、新資料のリスト、図書館目録や文書館等々の手引き、新しいコンピューターソフト、データベース、CD-ROMのレポートを掲載します。学会の通知、日本関係の新刊書紹介、奨学金、就職情報も掲示しております。またH-JAPAN では真摯な書評と、それに対する著者や専門領域を同じくする人々からの反論の投稿を期待しています。

H-JAPAN は電子出版物です。全ての掲示はオンライン上に恒久的に保存され、引き出すことができます。H-JAPAN の掲示されたものをダウンロードして、非営利目的の教材として利用されることを奨励しております。その際には、著者名、H-JAPAN から引

用した旨、そして掲載の日付を添えてください。

H-JAPAN の目的は、全世界から日本に関する研究者が参加して相互に交流することができるようになることです。とりわけ、日本にいる専門家と世界各地の研究者との間の相互交流が進むことを進んでいます。ですから、英語でも日本語でも結構です。どしどしコミュニケーションをとってください。より使いやすい言語でメッセージを書いていただければと思います。気軽に意見を交換できる雰囲気が生まれることが、我々の最も希望することなのです。もちろん、外国語を読んだり、書いたりすることで誤解を生じそうな場合は、意味を確認しあい、瑣末なことや感情的な問題にとらわれなくて、あくまで専門家としての立場から意見を出すことが必要です。どうか、問題の本質に焦点があたるようにしてください。

現在、H-JAPAN では、日本語のメッセージを配信はできますが、漢字やかなで書かれたメッセージを読んだり書いたりするためには、端末のコンピューターに適切な通信ソフトが必要です。将来的には、日本以外のメンバーや機関が日本語でコミュニケーションが取れるようにするための情報を、供給できればと考えております。

日本語利用可能なソフトを利用していない場合、日本語のメッセージを受け取っても、意味不明な文字が現れます。そのため、そのような日本語メッセージをとばしたり、消去したい人もいることと思いますので、H-JAPAN へ投稿されるメッセージには、以下の略号をサブジェクトに挿入してください。

H-Japan(J): 漢字・かな表記（日本語）の場合

H-Japan(E): 全てアルファベット表記（英語またはローマ字の日本語）の場合

H-Japan(E,J): アルファベット表記の英語と、漢字・かな表記の日本語が混在している場合

サーバーの中には、サブジェクトのところの漢字をコントロールコードと認識してしまうものがあるので、H-JAPAN へのメッセージは、本文が漢字・かな表記であっても必ずアルファベット（英語またはローマ字の日本語）で表記してください。

適当な通信ソフトウェアを利用しているにもかかわらず、日本語のメッセージの送受信に問題がある読者は、以下のどちらかにファックスを御送付下さい。

米国 フィリップ・ブラウン 1-614-292-2282

日本 杉田米行 0727-30-5416（日本以外からは81-727-30-5416）

H-JAPAN では、Gopherと日本語と英語両方で利用できるWWW のホームページを開設する予定です。H-JAPAN 関連の情報に関しては、以下を通してのアクセスが可能です。

<http://h-net.msu.edu/~asia/>

Gopherのアドレスは、以下の通りです。

h-net.msu.edu

先ずは自己紹介を掲示することから始められてはいかがでしょう。職業、学校名、現在の研究課題、問題関心、あるいは受け持たれている授業などを記していただければと思います。全ての掲示物に関しては、以下の住所まで御送付いただくようお願いいたします。

h-japan@h-net.msu.edu

またもう一つの方法として、H-JAPANからのメッセージを読んだ後、返信のコマンドを用いて応答することもできます。また、全ての投稿物に関して、名前、電子メールのアドレス、そして所属機関名を必ず添えてください。

WordPerfectやMicrosoftWord のようなワードプロセッサ用ソフトをお使いになり、H-JAPAN への投稿を準備される際は、改行コードを入れてテキストファイル（あるいは"DOS" ファイル）で保存をお願いいたします。デコードの際問題が発生するため、くれぐれもUU-encode ファイルの投稿は御遠慮ください。

編集担当者：

フィリップ・ブラウン (Brown, Philip)

オハイオ州立大学歴史学部

電子メール：brown.113@osu.edu

ジャネット・Ｒ・グッドウィン (Goodwin, Janet R.)

会津大学文化研究センター

電子メール：jan@u-aizu.ac.jp

杉田米行 (Sugita, Yoneyuki)

大阪外国語大学アメリカ講座

電子メール：sugita@post01.osaka-gaidai.ac.jp

大橋幸泰 (Ohashi, Yukihiro)

武蔵高校

電子メール：VYL02002@niftyserve.or.jp

岡本公一 (Okamoto, Koichi)

早稲田大学国際部

電子メール：koichi@cfi.waseda.ac.jp

デビット・ウィットナー (Wittner, David) 登録関係担当

オハイオ州立大学歴史学部

電子メール：wittner.1@osu.edu

H-USA

Welcome to the electronic network H-USA, an international forum for everyone interested in information about the United States. H-USA is

designed to serve teachers, scholars, journalists and advanced students outside the USA, especially in Japan. This network group is part of the H-NET family of over 50 internet discussion networks which reach 38,000 scholars in the humanities in 68 countries. Subscribers will automatically receive messages in their computer mailboxes. Messages can be saved, discarded, copied, printed out, or relayed to someone else. It is like a newsletter that is published several times a week.

The primary purpose for H-USA is to enable teachers interested in American Studies and American history to obtain accurate information from scholars, and to discuss the meaning of current and historical events. H-USA will be entirely non-partisan and non-polemical. No "flames" will be published. H-USA is published by independent scholars--not by the U.S. government. It will be open to all viewpoints. H-USA will be free, with no dues or subscription charges. It is made possible by the unpaid work of volunteer editors, and the paid work of technical staff at Michigan State University. Its costs are covered by a grant from a leading Japanese foundation.

H-USA will feature questions and answers about the United States. In 1996 it will feature questions and answers and discussions on the Presidential election. H-USA will discuss new articles, books, papers, approaches, methods and tools of analysis; it will disseminate bibliographies, discuss new ideas and share syllabi and tips on teaching. It will commission original reviews of new books, movies, television programs, videos, museum exhibits, textbooks, CD-ROMS, computer software, and other teaching materials. H-USA will be edited by a team of scholars and have an editorial board. Many items will be crossposted from other H-NET lists which deal with advanced topics in American culture. H-USA will work to establish "pen pal" connections between high school classes in the USA and other countries.

H-USA will try to stimulate dialogues among those who study American topics worldwide. Subscribers will write in with questions, comments, and reports. We are especially interested in reaching college and high school faculty who teach courses on American history, American Studies, American literature or the English language. H-USA will therefore actively solicit syllabi, reading lists, term paper guides, ideas on videos, slides and software, and tips and comments that will be of use to the teacher who wants to add a single lecture, or an entire course.

H-USA is co-edited by prominent scholars

H-USA will be moderated to filter out extraneous messages (like requests for subscription). Items that in the judgment of the editors do not further the

educational dialogue will not be published. The editors will translate and summarize postings not sent in English, and will correct spelling or grammar errors, but they will not alter the meaning of the message.

H-USA is primarily sponsored by H-Net, an independent international organization of scholars. H-USA is financed by the Center for Global Partnership of the Japan Foundation (Kokusai Koryu Kikin Nichibei Center). H-USA is cosponsored by the Institute of Asia-Pacific Studies (at Osaka U. of Foreign Studies) and Michigan State University. It has additional support from the National Endowment for the Humanities.

H-Net is a broad initiative to establish electronic communications among humanities scholars and to educate them in the new uses of electronic media. Professor Richard Jensen is the director of H-Net; write to him anytime at Richard. Jensen@uic.edu for further information about H-Net.

H-ASIA

H-ASIA is one of the historical computer listserves of H-NET: Humanities Online published at Michigan State University with additional funding from the National Endowment for the Humanities. H-NET is a broad initiative to establish electronic communications among historians and to educate historians in the use of electronic media.

The primary purpose of H-ASIA is to enable academic historians and other Asian scholars to easily communicate current research and teaching interests; to discuss new articles, books, papers, approaches, methods and tools of analysis; to test new ideas and share comments and tips on teaching. Relevant extracts from the H-NET JOB GUIDE are posted, as are fellowship announcements. Organizers of conferences, and symposia in Asian Studies are encouraged to post calls for papers and program contents. H-ASIA attempts to stimulate dialogues between disciplines and among Asia specialists through the publication of course syllabi and reading lists, course handouts, bibliographies or guides to term papers. We encourage graduate students to post abstracts of their doctoral dissertations. Reports on new archival or bibliographic sources, new software, datasets or CD-ROMS will be welcomed.

Subscriptions to H-ASIA are free.

As of November 7, 1995 H-ASIA had approximately 1200 subscribers residing in thirty-two nations of Asia, Africa, Australia, Europe, North and South America. Although about 3/4 of our members are in the United States, we

have representation across a vast geographic range, from Finland to Singapore, India to Argentina, Japan to Venezuela, Canada to South Africa. Subscribers automatically receive messages in their computer electronic mailboxes. These messages may be downloaded to a word processor, saved, discarded, printed out, duplicated, or relayed to someone else. H-ASIA is like a newsletter that is free and published daily. Please note that we encourage subscribers to retain all indications of authorship for postings that they reproduce in other locations.

H-DIPLO

H-DIPLO is the H-NET discussion list dedicated to the study of diplomatic and international history. H-Diplo is a moderated discussion list which allows scholars to discuss issues and subjects related to the study of international and diplomatic history with colleagues from around the globe. Currently, our membership list includes scholars from Great Britain, Germany, Norway, the Netherlands, Australia, New Zealand, Japan, Argentina, and Mexico as well as the United States.

Established in 1993, our list is still young and continuing to evolve. It provides a unique opportunity for scholars to discuss historiographical issues,

Present research interests and inquire about sources, and compare teaching methods and approaches. Recent threads include the debate over the Enola Gay exhibit, the impact of the atomic bomb on the societies of both Japan and the United States, and the Reagan administration's conflict with New Zealand over nuclear issues. In addition, H-Diplo commissions and publishes reviews of important new books on international history, and sponsors on-line discussions on the reviews and books. It also posts information about fellowships, conferences, and job opportunities.

The Contemporary History Institute at Ohio University (Athens, Ohio) manages H-DIPLO. The list editors are John Lewis Gaddis and Chester J. Pach, Jr., and Senior Ph. D. students at Ohio University serve as list moderators. The editors and moderators are advised by an editorial board composed of distinguished scholars drawn from outside the Institute, which determines broad policy. The editors and moderators of H-Diplo encourage all scholars and graduate students interested in the study of international history to join our list, and we look forward to your participation in the list's activities. For further information, please contact us at hdiplo@ouvaxa.cats.ohiou.edu

H-ANZAU

H-ANZAU is H-Net's list for scholars of the history of Aotearoa/New Zealand and Australia. Recent history has seen both countries evolve from Anglo-Saxon settler colonies to societies that are increasingly multicultural and postcolonial in outlook. In both countries, scholars across the spectrum of the humanities have become greatly involved in appraising current and future relations with Asia and Pacific states. H-ANZAU provides a forum for examination of key issues in the history of both countries, including those which have profoundly shaped domestic and foreign policy.

H-ANZAU also supports various on-line resources for the teaching of Australian studies. The most important of these is the new Australian Information Server for History and the Humanities, to be sited jointly at the University of Melbourne and James Cook University of North Queensland. The server will incorporate the new Electronic Journal of Australian and New Zealand History, which will largely comprise reviews of scholarly monographs. The server will be fully operational by June 1996 and will be easily accessible via H-Net's WWW site for its Asia - Pacific lists.

The list has an editorial board of internationally recognised scholars, based in Australia and Aotearoa / New Zealand, and is currently edited by Dr Paul Turnbull, Senior Lecturer in History at James Cook University.

H-World

H-world is an electronic discussion network for scholars, teachers and students interested in world history. World history is loosely defined to include both comparative studies that take in phenomena in more than one current nation-state and integrative studies of the way events, trends or ideas in one part of the globe have affected developments elsewhere. The chronological span covered is unlimited: discussions have ranged from pre-history to contemporary events.

H-world regularly posts questions for discussion sent in by subscribers and notices received from elsewhere. The former range from bibliographic queries (especially helpful to those who find that either teaching or research requires them to delve into areas remote from the ones in which they were trained), thematic discussions of teaching and research strategies, evaluations of major ideas and works in world history (or the applicability of ideas drawn from research on one specific time and place to others), to discussions of newly available multi-media teaching materials. Notices received from elsewhere often concern upcoming conferences, research and travel grants, and job notices; we also re-post discussions from the other 40 plus H-Net lists

(such as H-Asia) when these seem likely to be of interest to a broader audience. In addition, H-world has recently begun to commission and publish its own book reviews of new and important works of interest to world historians.

H-Net's current active editors are Patrick Manning (Northeastern University), an Africanist; Kenneth Pomeranz (University of California, Irvine), a China specialist, and Daniel Segal (Pitzer College), a specialist in the British Caribbean and England; our editorial board includes members who work on virtually every part of the globe. The majority of current subscribers are in the USA, but we have some members on at least 5 continents. To subscribe, send this message to listsrv@msu.edu: subscribe h-world email address.

H-Urban: An Urban history Electronic Network

H-Urban was established in February 1993 to provide an electronic forum for scholars of urban and planning history. H-Urban has over 1,200 participants form around the world. Discussion of cities throughout human history, and in all geographic areas, is welcom. Two such discussion threads -- available on the H-Urban gopher and the H-Urban fileserv in the files ASIAN CITIES and ASIAN FILMS -- have particular relevance for the Bulletin of Asian Studies. All of H-urban's logs are also searchable on the World Wide Web by subject, author, date, and by key word search.

The primary purpose of H-Urban is to enable urban historians to communicate current research and research interests easily and quickly; to discuss new approaches, methods, and tools of analysis; to share reviews of useful resources including monographs, journals, articles, and primary source materials such as papers, maps, records, and databases; and to announce calls for papers, conferences, museun and society shows, exhibitions, job opportunities, grants and fellowships. H-Urban is also a forum for exploring the approaches, methods and tools used in teaching history to graduate and undergraduate student.

The co-editors of H-Urban are Wendy Plotkin, University of Illinois at Chicago, U.S.; Alan Mayne, University of Melobourne, Australia; Martha J. Bianco, Portland State University, Portland, Oregon, U.S; Mark peel, Monash University; Keith Tankard, Rhodes University, East London, South Africa.

H-Urban's a Assistant Editors are Sara Comeny of the Public Citizen Litigation group, Washington DC, USA; and Jackson Shea, programmer analyst, Oregon Health Sciences University, Portland, Oregon, USA.

H-WEST<h-west@msu.edu>

H-WEST is an e-mail discussion list for western history. The primary purpose of H-WEST is to encourage lively and professional discussion of the history of the North American West and the frontier as both the place and process. H-WEST is designed for scholars, researchers and teachers, and is open to all methodological and theoretical approaches.

Discussions may include current research and research interests; methods and tools of analysis; reviews of primary and secondary sources; calls for papers; information on conferences, grants fellowships, and Internet resources. H-West expects to commission reviews of new scholarly works.

H-WEST is also a forum for exploring the approaches, methods, and tools used in teaching western history to graduate and undergraduate student. Syllabi, reading lists, and examinations are all valuable subjects for discussion. We hope to establish a regular syllabus exchange.

The Moderators of H-WEST are:

Catherine Lavender, The City University of New York
<lavender@ucsub.Colorado.EDU>,
G. L. Seligman, University of North Texas
<gus@cas.unt.edu>, and
Elliott West, University of Arkansas
<ewest@comp.uark.edu>

H-Film

H-Film is a free international electronic forum established in August 1993 to provide a forum for scholars and professionals in the fields of film history, communication, and popular culture. H-Film already has over 600 subscribers, mainly in the U. S., but including participants in Europe, Latin America and the Pacific.

The primary purpose of H-Film is to enable specialists in the study and uses of media to easily communicate current research interests; to test new ideas; and discuss methods of teaching. H-Film will:

- publish syllabi, outlines, handouts, bibliographies, and other teaching resources;
- post information on grants, conferences, jobs, and new books and videos;
- provide reports on new software, CD-ROMs, and on-line research tools;
- and, above all, promote the kinds of scholarly interchange that up until now were confined to professional conferences or small circles of friends.